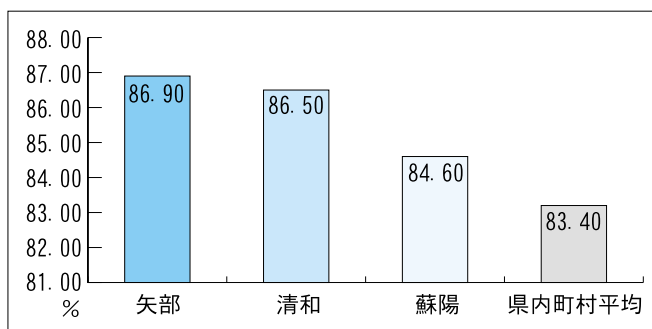


## 6 財政構造の弾力性をみるめやす（平成13年度決算から）

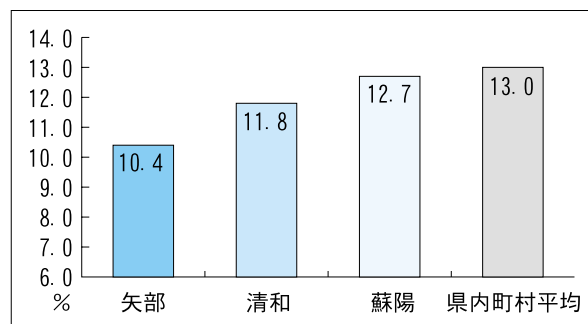
### （1）経常収支比率

財政のゆとりを見るための指標です。使い途を限定されない経常的な収入に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費等の毎年経常的に支出されるもの。）の割合が低いほど、財政にゆとりがあり、さまざまな状況の変化に柔軟に対応できることを示します。3町村とも県内平均を上回り財政構造が硬直化していることがうかがえます。



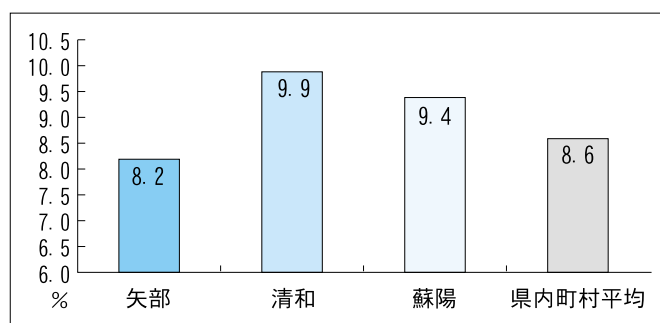
### （2）公債費比率

地方債（借金）返済額の一般財源に占める割合です。この比率が10%を超えないのが望ましいとされています。



### （3）起債制限比率

この比率が20%を超えると一部の起債が許可されません。



### （4）財政力指数

財政力の強弱を表す指標で数値が大きくなるほど財政力は強いということになり、この比率が1を超えると地方交付税が交付されません。

県内市町村の状況	団体数	割合
財政力指数が0.6以上の市町村	3	3.2%
〃 0.4以上0.6未満	12	12.8%
〃 0.2以上0.4未満	41	43.6%
〃 0.2未満	38	40.4%

